

2019年5月14日

東武鉄道株式会社  
東武緑地株式会社  
マリオット・インターナショナル

2020年春 札幌東武ホテルが  
「フェアフィールド・バイ・マリオット札幌」にリブランドオープン  
～フェアフィールド・バイ・マリオット日本初進出～

東武鉄道（本社：東京都墨田区）が所有し、東武緑地（本社：東京都墨田区）が運営する札幌東武ホテル（北海道札幌市中央区）は、マリオット・インターナショナル（本社：米・メリーランド州）と提携し、2020年春に「フェアフィールド・バイ・マリオット」日本初進出となる「フェアフィールド・バイ・マリオット札幌」へとリブランドオープンします。

札幌東武ホテルは、1994年に札幌市内中心部に開業して以降、約30㎡とゆとりのある客室や開放的なガーデンコートの特徴として、国内のビジネス客や観光客を中心にご利用いただいています。この度、アジアを中心とした訪日外国人観光客が急速に増加している札幌において、会員数約1億2千万人というマリオット・インターナショナルの世界最大級の旅行プログラム「Marriott Bonvoy（マリオットボンヴォイ）」に参加し、海外で1,000軒以上の展開実績がある「フェアフィールド・バイ・マリオット」へのリブランドにより、訪日外国人観光客の獲得を目指します。

また、リブランドに合わせ、本年10月より休館して全面改修を実施し、「フェアフィールド・バイ・マリオット」のコンセプトである「シンプルであることの美しさ」と木の優しい色合いを取り入れ、北海道の豊かな自然を感じられるデザインとするほか、訪日外国人観光客のニーズに合わせたゆったりと寛げるベッドに変更するなど、客室内の環境も整備します。

本リブランドをもって、「コートヤード・バイ・マリオット銀座東武ホテル」、「ACホテル・バイ・マリオット東京銀座」（2020年夏開業予定）、「ザ・リッツ・カールトン日光」（2020年夏開業予定）とあわせて、東武グループとマリオット・インターナショナルが提携するホテルは4軒となります。今後も両社で連携し、国内外から多くのお客さまを誘致してまいります。



△フェアフィールド・バイ・マリオット札幌  
フロント（イメージ）

Fairfield®  
BY MARRIOTT

△フェアフィールド・バイ・マリオット ロゴ

## 改修後の建物概要

所在地	北海道札幌市中央区南4条東1丁目		
階数	地上13階、地下1階		
客室数	252室		
客室内訳	シングル	20室	18㎡
	ダブル	51室	17～23㎡
	キング	17室	23～25㎡
	ツイン	158室	24～30㎡
	ファミリー	1室	47㎡
	バリアフリー	2室	50㎡
	スイート	3室	41～100㎡
付帯施設	レストラン、カフェ、会議室、フィットネスジム（新設）		

※客室数については、今後変更の可能性があります。



△フェアフィールド・バイ・マリオット札幌  
外観（イメージ）



△客室（イメージ）

### フェアフィールド・バイ・マリオットについて

フェアフィールド・バイ・マリオットは、信頼のおけるサービスや温かみのある心地よい空間により、シームレスな滞在をお届けできるようデザインされています。フェアフィールドは、無料Wi-Fiや温かい朝食に加え、丹念にデザインされたゲストルームや、リビング、ワーキングスペース、寝室が分かれたスイートルームを提供しています。詳しい情報は、[fairfield.marriott.com](https://fairfield.marriott.com)をご覧ください。また、FacebookやTwitter (@FairfieldHotels)にて最新情報もご確認いただけます。世界各国に1,000軒以上のホテルを展開するフェアフィールドは、これまでのマリオットリワード、ザ・リッツ・カールトン・リワード、スターウッドプリファードゲスト（SPG）に代わり新たに誕生したマリオットの旅行プログラム「Marriott Bonvoy（マリオット ボンヴォイ）」に参加しています。「Marriott Bonvoy」は、会員の皆さまに並外れたグローバルブランドポートフォリオや Marriott Bonvoy Momentsでの体験、そして無料ホテル宿泊に向けたポイントやエリートステータス昇格に向けた泊数獲得を含む、比類なき特典をお届けします。無料会員登録やプログラム詳細については、[MarriottBonvoy.marriott.com](https://MarriottBonvoy.marriott.com)をご覧ください。

## 東武鉄道株式会社について

1897年に創立。2019年現在の鉄道営業キロ数は東京・埼玉・栃木・群馬・千葉の一都四県にわたる463.3キロと関東民鉄最長の営業規模を有しており、平均して一日に約254万人のお客さまにご利用いただいています。他社線との相互乗り入れも進む中、首都圏のネットワークを支える大動脈としての機能を果たすとともに、そのほかにも沿線を中心とした開発事業を展開しています。

2012年には、在京放送事業者、地元墨田区の要請を受け、自立式電波塔としては世界一の高さとなる東京スカイツリー®を擁する「東京スカイツリータウン®」を開業、世界各国からお客さまをお迎えしています。

なお、当社では北海道エリアにおいて、東武グループとしてユニ東武ゴルフクラブ、ユニニの湯、ゆにガーデン、札幌東武ホテル等、レジャー事業を中心に展開しているほか、2017年8月よりJR北海道から借り受けている蒸気機関車を「SL大樹」として鬼怒川線で運行しています。

[www.tobu.co.jp](http://www.tobu.co.jp)

## 東武緑地株式会社について

1986年に緑化事業を開始し、造園、ゴルフ場芝生メンテナンス、婚礼の装花、観葉植物のレンタルと緑に関係する事業を展開しています。2007年に北海道のユニ東武ゴルフクラブ、ユニニの湯の運営を開始しサービス業に進出、2008年にゆにガーデンを合併、2010年に札幌東武ホテルの運営を開始し、緑、花を取り入れた快適な施設でのサービスを提供しています。

[www.toburyokuchi.co.jp/](http://www.toburyokuchi.co.jp/)

## マリオット・インターナショナルについて

マリオット・インターナショナル (NASDAQ: MAR、本社：米国メリーランド州ベセスダ) は、130カ国の国と地域に30のブランド、合わせて7,000軒以上の宿泊施設を擁するホスピタリティ企業です。世界中でホテルの運営及びフランチャイズや、リゾートのオーナーシップ・プログラムを展開しています。

また、これまでのマリオットリワード、ザ・リッツ・カールトン・リワード、スターウッドプリファードゲスト (SPG) に代わり、現在ではひとつになった旅行プログラム「Marriott Bonvoy (マリオット ボンヴォイ)」を提供しています。詳しい情報は、[www.marriott.com](http://www.marriott.com)をご覧ください。また最新の企業ニュースは [www.marriottnewscenter.com](http://www.marriottnewscenter.com) をご覧ください。Facebook や Twitter (@MarriottIntl)、Instagram (@MarriottIntl)でも情報発信しています。